海外レポート	**中国　上海**

「上海市のカフェ店舗数は世界一」

洲澤　輝

中国ではコーヒーブームが続いており、中国国内には 10 万店舗以上のカフェがあると言われています。その中でも上海市のカフェは圧倒的に多く、2022 年時点では約 8,000 店舗あります。上海市は中国国内で最もカフェが多い都市ですが、実は全世界から見ても東京都やロンドン、ニューヨークなどを上回り、カフェ店舗数は世界一となっています。米国発祥のコーヒーチェーン「スターバックス（Starbucks）」の店舗数を上海市と東京都で比較してみると、東京都が 389 店（2023 年 1 月時点）なのに対し上海市が約 1,000 店（2022 年 9 月時点）となっており、その差は歴然です。

そんな上海市のカフェ市場ですが、以前はスターバックスや中国の「ラッキンコーヒー（Luckin coffee）」、英国の「コスタコーヒー（Costa Coffee）」、カナダの「ティム・ホートンズ（Tim Hortons）」など、大手カフェチェーン店が目立っていました。しかしここ最近では大手チェーン店ではなく、個人で営んでいるような小型店舗が増加しています。小さなカフェであっても 1 日に数百杯近くのコーヒーを販売している店舗もあり、その内 60%～70%の注文が「餓了幺」や「美団」などの宅配サービスからの注文です。

この背景には、上海市の充実した宅配サービスがあります。スマートフォンでアプリを通じて簡単に注文でき、会社や自宅など指定場所に配送してもらえます。オフィスビルや地下鉄の駅構内には保温機能も備わった宅配サービス専用の受け取りボックスもあります。こうした機能が充実しているため、小さなカフェであっても売り上げを伸ばすことができるのです。

【地下鉄の駅構内に設置された宅配受け取りボックス】

上海でコーヒーが好まれている理由は、昔から国際都市として発展しており、多くの外国商人が現地で商売をしてきた歴史が関係しているといわれています。その時に外国のコーヒー文化を含む飲食文化が普及し、それらが長い年月をかけて市民に浸透していきました。また、近年の経済発展により、中国消費者の経済力と生活水準も上昇しており、コーヒーを含む嗜好品への消費が活発になっていることも理由だといわれています。

上海市では、現在も国内外ブランドのカフェが続々とオープンしており、今後もまだまだブームは続くと思います。

【ラッキンコーヒーの店舗】
※中国全体ではラッキンコーヒーの店舗数がスターバックスを上回っている。

こちらの記事は、1 月末に執筆し、中国新聞 SELECT「最前線ビジネスサポーター発」にも一部、掲載されました。